



発行：近畿長野県人会 会長 高坂昌利

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-800

大阪駅前第1ビル8F 長野県大阪事務所内

TEL 06-6341-8191 (代) E-mail:kinkinagano@gmail.com

編集：近畿長野県人会 広報部会

印刷：コア(株) TEL 06-6968-5534

## ふるさと信州・長野県への思いを語り、 郷土への貢献と会員の“健康長寿”を目指そう！

近畿長野県人会会長 高坂 昌利

近畿長野県人会が昭和37年5月に創立されてから55年が経過しました。会の事業活動も会員の減少、高齢化が進み、変化を余儀なくされております。

50周年記念事業開催以降、「会員相互の親睦と福祉の向上」については、年1回全員が集まる「新年懇親会」だけでは得られない“日常的な会員相互の交流”に重点を置いて

①パソコンメールを導入、会員とのコミュニケーションを促進 H25.4～

②「同好会」を増やし、自主的な運営のもとに日常的な交流を推進 H25.10～

③近畿長野県人会公式ホームページの創設、運用 H29.3～

行事の開催予定・結果をタイムリーに掲載

④“会員の顔が見える”会報づくり

参加者の写真をできるだけ多く掲載などを順次実施して参りました。

特に同好会は「ゴルフ・すずらん会(昭和45年3月発足)」だけでしたが、平成25年10月以降「カラオケ」、「ハイキング」、「グルメ」、「大相撲愛好会」、「麻雀」を立ち上げ、現在6つの同好会が世話役の方の尽力により、大勢の会員が参加して自主的に活動しております。同好会は自由参加ですが、まずメンバー登録して、参加時には十分楽しんでいただき“健康長寿”につながればと思います。

今年後半の親睦事業として来る10月5日(木)に「秋の日帰り旅行会」を大阪・箕面市の箕面観光ホテルで開催します。多数の皆様のご参加をお願いいたします。

### 「ふるさと信州への思い」を特集

今回「ふるさと訪問記」、「ふるさとの祭り」、「ふるさと自慢」など「ふるさと信州への思い」を募集したところ5人の方に寄稿いただきました。(P2～P6に掲載)



同好会：カラオケ(歌に合わせて踊る)



同好会：麻雀を楽しむ(女性も)



## 北斎・鴻山と小布施三大傑作

小林 昭夫

はっきりした記憶はないが、小学4年生の頃だと思う。ある日、先生が「今日は昼から岩松院へ行って天井に描いてある大きな絵を見る、お昼を食べたらすぐ出発する。」子供らにとっては絵が大きかろうが小さかろうがどうでも良い、外出できることで教室は大騒ぎである。寺に着き、寝そべて本堂の天井絵を見て皆びっくり、でっかい絵、どぎつい色、目が鋭く、お化けのような鳥だ。

和尚さんの説明があり「昔、江戸の絵描きさんで、葛飾北斎という人がいた。小布施の豪商、高井鴻山(たかいこうざん)の家にたびたび江戸から来て絵を描いていた。この絵(岩松院大間天井鳳凰図)も北斎が描いたが、畳21枚ほどある。高価な岩絵具などは高井家を用意したもので、今でも色が変わらず、光り輝いている。北斎はこの絵が出来上がった2年後に90歳で亡くなっている。」とのこと。

高井鴻山について少し触れてみたい。大名をもしのぐといわれた小布施の豪商、高井家に生まれ、京都と江戸に延べ16年間ほど遊学、書や画、和漢の学問を学んだ。その際に江戸で出会った人物の一人が北斎だった。北斎の絵を見て、天下一の画人であると信じ、畏敬の念をいただき、また北斎も自分の絵を理解してくれた鴻山に対し親しみと信頼感を持ち、小布施来訪につながったものと思われる。

北斎が鴻山に招かれ小布施を訪れるのは最晩年の83歳から88歳の6年間に4回で、滞在は延べ4年半に及ぶという。鴻山はこのすぐれた画家北斎を迎えて、自らも指導を受け画技を学ぶとともに、小布施のためにすぐれた作品を描いて欲しいと思ったのだろう。

北斎は鴻山の支援を受け、最晩年の芸術制作の中心を小布施に置いたという。その時の作品の中でも、岩松院大間天井絵・八方睨み鳳凰図、上町祭屋台天井絵、東町祭屋台天井絵は小布施に残る三大傑作といわれている。いずれも圧倒する量感・迫力である。ぜひとも小布施へおいでいただき、岩松院と北斎館で現物を見ていただきたい。

また、この秋には“あべのハルカス美術館”において、10月6日(金)から11月19日(日)まで大英博物館国際共同プロジェクト「北斎—富士を超えて—」展が開かれ、岩松院大間天井鳳凰図の彩色下絵と、上町祭屋台天井絵「濤図」2枚が出品されます。こちらもぜひご観覧ください。(小布施町出身)



岩松院大間天井絵「八方睨み鳳凰図」  
(小布施文化観光協会「小布施観光案内帳」より)

## 故郷と時の流れ

掛川 俊一

「ハイハイ小諸出てみよ浅間の山に、今朝も煙が三筋立つハイハイ」(小諸馬子唄)

この地を離れて60余年となる。去る6月、中学時代のクラス会が故郷の小諸であった。近年JRでの帰省ルートは新幹線で東京経由としているが、今回は名古屋経由の中央線で長野行きを利用した。



昨年の3月、国鉄時代からの45年に亘る「大阪から長野」直行便、特急「しなの」ラストランを見送って一年余りが過ぎ、名古屋からの乗車となる。車窓から新緑の山々と深い溪谷を眺める。木曾の「寝覚めの床」も以前と同じ。姨捨山周辺を通過する頃、車窓からの景観につき車内アナンスがあり、変わらぬ景色に感動した。長野から小諸間は「しなの鉄道」を利用する。運行がJRから移行され、ローカル線の雰囲気一色ながら車窓の景色は何ら変わっていなかった。

翌日、クラス会は中学2年の遠足先の妙義山を目指す。以前は軽井沢から横川間は県歌「信濃の国」にも詠われている「碓氷トンネル26」を数えながらの列車の旅であったが、既に廃線となり、当時車窓から見下ろしていた谷間の道をJRバスに乗り継ぎ移動した。

横川駅前の店で、懐かしい「釜飯弁当」を求め、列車に乗り換え目的地松井田に向かう。妙義山の登山は一同歳を重ねるに見合わせ、山麓の妙義神社に参拝して宿舎に入る。

その夜、田舎料理と昔話のオンパレード。中学時代の幼友達は同姓の者も多く、昔から下の名前を「ちゃん」付けて呼び合っている。曾孫も居るジー・バーが歳を忘れて大はしゃぎ、懐かしくまた楽しいタイムスリップの旅でした。



小諸駅より浅間山を望む

JR新幹線の開通と交通網の整備によって、街並みと人の流れは大きく変貌したが、故郷の景観と幼友達の心は、今も昔と変わっていない。(小諸市出身)

## 故郷と祭り

遠藤 正典

南北に広がる信州には、それぞれの地域に古くから伝わる祭りや民俗芸能に代表されるように、極めて多様な文化が育まれております。私の実家のある辰野町・小野地区でも、今年が7年目毎の御柱祭の年にあたり、「山出し」「里曳き」「建御柱」と5月までイベントに追われました。木遣り唄に合わせて懸命に綱を引く老若男女の姿や、建ちあがった御柱を見上げる人々の表情など、何度見ても良いものですが、この時ばかりは現在奈良や北陸に住む私の家族も勿論全員集合です。

御柱祭は、寅と申の年に行われる諏訪地方が有名ですが、卯と酉の年の小野・矢彦神社の御柱も千年以上の歴史と伝えられ、「人を見るなら諏訪御柱、綺羅(きら)を見るなら小野御柱」という言葉の如く江戸時代には華やかな衣装で有名だったとのこと。



辰野町 小野御柱

また、6月の中旬になると辰野町の駅前大通りに「ほたる祭り」の看板と、時ならぬ露天商の夜店の列ができます。伊那谷の最北端に位置し天竜川への清流や用水が数多く流れる町内では、昔から多数のホテルが見られました。辰野町のパンフレットによれば、ゲンジボタ



ルとハイケボタルのほかにも数種類が確認されているそうです。数の多さで大正時代に長野県の天然記念物指定を受けたものの、開発や農薬の影響などで何度かの絶滅危機もあったようです。しかし、町をあげての保護努力と松尾峡の「ほたる童謡公園」の整備などから、今年は2万匹以上のゲンジボタルの大乱舞が見られるまでに回復しました。



信州辰野町観光ガイドより

私自身は法事がらみの所用があって、肝心の夜のホタルは見られずじまいで、昼間の露店の余りの多さに驚いただけという間抜けさでしたが、全国紙やテレビの報道で幻想的なホタルの大乱舞の光景を目にされた方も多かったかと思えます。

ともあれ、地域の祭りは、その歴史の古さ新しさに拘わらず、今も地域に住む人々と共に遠く故郷を離れた者達をも結ぶ絆です。

皆様にも子供の頃から親しんだ故郷の祭りを思い出して頂くきっかけにでもなればと、我が町の祭りを二つ紹介させて頂きました。

(辰野町出身)

## 関西の古社寺参拝に参加 信州との絆を実感

鳴倉 宏

私の亡父の実家である須坂市中島の浄土真宗本願寺派圓長寺(鳴倉崇雄住職)が主催した「専如門主伝灯報告法要団体参拝」に関西から

参加させていただいた。宗祖・親鸞聖人から25代目の門主になられた専如門主の就任を祝い、法灯(浄土真宗の教え)が広く伝わることを願っての法要で、昨年10月から今年の5月末まで10期にわたって営まれた。

圓長寺の檀家、門徒28人が参加して、4月1日朝、須坂を観光バスで出発。私は京都の大谷本廟で合流した。崇雄住職は私にとって従兄の長男で、他に従妹2人も参加。運転は別の従兄の長男で、なじみの人が多く、和気あいあい。

西本願寺に到着するとすぐに阿弥陀堂での法要に参列。そのあと国宝の書院・飛雲閣を拝観。崇雄住職の案内でふだん見ることのできないところも拝観できた。

境内にある宿泊施設「聞法会館」にチェックインしたあと円山公園へ。公園内の料理屋で湯豆腐鍋の会食。公園内を散策しましたが、サクラはまだチラホラ咲き。1本だけ満開の桜がありましたが、周りはいっぱいの人で大混雑。そのほとんどの声は外国語でした。

2日目は朝6時から阿弥陀堂でのお勤めに参列。9時出発で西山別院(西京区・覚如上人創建)、角坊(右京区・親鸞聖人往生の地)を参拝して嵐山へ。昼食ののち醍醐寺へ、ここもサクラは3分咲き程度でしたが、人出だけはすさまじいほど。



角坊にお参りした一行



次は大津市の石山寺。急な石段を上がって参拝。あとは宿舎の琵琶湖温泉へ向かったが、大津の街並みの変わりようには目を見張った。私は昭和36年ごろ大津市に住んでいたのですが、当時は古ぼけた民家ばかりだった市街は高層ビルが立ち並び、悪名高い「雄琴温泉」だったのが、高層ホテルが立ち並ぶ「琵琶湖温泉郷」になっていた。

翌朝湖岸を散歩したが、コンクリート護岸になっており、釣りをしていた人も「釣れるのは外来魚ばかり」とぼやいていた。

3日目は東湖岸を北へ。錦織寺(滋賀県野州市・親鸞聖人が関東からの帰りに立ち寄り布教したところ)に参拝。続いて、本願寺の長浜別院(長浜市)に到着。お参りして重文の本堂、名勝指定の庭園などを鑑賞した。

長浜で一行と別れ、私はJRで大阪へ帰ったが、宗派ゆかりの古社寺にお参りし、信州との絆を実感した旅でした。(須坂市出身)

## 信濃路の鉄たび

安藤 隆雄

長野市で一人暮らしをしていた母も5年前に亡くなり、柳原の実家が空き家になっています。道路側には生垣代わりの細長い藤棚があり、毎年5月には見事な藤の花見ができるのですが、その後は伸びてくるツルの剪定など、手入れが欠かせません。小さな庭も放っておくと雑草が膝ぐらいの丈まではびこってしまうので、2~3ヶ月に1回は掃除をしに帰省しています。

だいたい名古屋経由の特急しなので直行するルートが多いのですが、それだけでは飽きてきますので、時には別のルートも利用しています。私は「鉄ちゃん」というほどのマニアではありませんが、ローカル線の雰囲気や景色が好きで楽しんでいきますので、その内のいくつかを紹介します。

サンダーバードで金沢へ、はくたかに乗り継いで糸魚川へ、ここから大糸線で大町・松本方面へ。列車は1両か2両、1日7本しか走っていないので、時刻表の確認が必要です。おススメは5月の連休の頃、谷間には雪が残っていますが、桃や桜、菜の花の競演が見事です。運転席の横でトンネル・ウォッチングも楽しみましょう。ほとんどが掘った時の岩肌がむき出しになっています。南小谷でJRが西日本から東日本に替わるので乗り換えが必要です。そこから4つ目が白馬で、長野へはここでバスに乗り継ぎ、オリンピック道路を1時間です。

昨年の秋には静岡で学生時代の友人の集りがあり、静岡駅に午後1時の集合でした。長野からは東京回りか名古屋回りが普通ですが、どちらも遠回りで、新幹線代もかかります。ネットで調べて、在来線だけのルートが見つかりました。長野ー塩尻をしの、甲府まであずさ、身延線で静岡までふじかわ、という特急3本の乗り継ぎです。ちょうど、静岡着13:00というもってこいのダイヤがあったので利用しました。富士川ぞいの景色も良かったです。静岡で1泊して、新幹線で帰って来ましたが、身延線の特急は乗継割引が適用されて半額でした。

長野ー静岡を自由席料金で比較してみました。

長野-塩尻-甲府-静岡 特-特-特 5時間 286km 9,820円

長野-名古屋-静岡 特-新 4.5時間 436km 10,690円

長野-東京-静岡 新-新 3時間 402km 12,960円

<p>長野 → 塩尻</p> <p>10:10 11:00</p> <p>11:00</p> <p>11:00</p> <p>11:00</p> <p>11:00</p>	<p>塩尻 → 甲府</p> <p>11:10 11:30</p> <p>11:30</p> <p>11:30</p> <p>11:30</p> <p>11:30</p>
<p>甲府 → 静岡</p> <p>12:10 12:30</p> <p>12:30</p> <p>12:30</p> <p>12:30</p> <p>12:30</p>	<p>静岡 → 東京</p> <p>12:10 12:30</p> <p>12:30</p> <p>12:30</p> <p>12:30</p> <p>12:30</p>



今年の3月末には青春18キップで飯田線の旅をしました。大阪から新快速を乗り継いで豊橋まで263km3.5時間、飯田線で山間の秘境駅に停車しながら天竜峡まで116km3.5時間です。昼神温泉に1泊して、2日目は途中で伊那市の登内(とのうち)時計博物館を見学して、岡谷と松本で乗り継ぎ、長野まで177km乗車5時間でした。合計556kmで、運賃は8,960円ですが、青春18キップでは2日分4,740円でした。このコースを寄り道をせずに行けば、接続が良ければ4回の乗り換えで、12.5時間、2,370円で行けるので、体力に自信のある方はチャレンジしてみてください。

また越後湯沢の旅館に1泊して中学の同級会が開かれた時は、長野から十日町まで飯山線で、北越急行に乗り換えて越後湯沢という往復も乗りました。この沿線も信濃川ぞいの景色の良いところです。

新幹線を使わずに東京から長野へ行くには、高速バスが手取り早いのですが、「鉄たび」なら高崎線で高崎へ、群馬県内だけの信越本線で横川へ、JRバスで軽井沢まで、しなの鉄道に乗り換えて長野というコースも気が向いたら試してみてください。

「信濃路の鉄たび」で残っているのは小海線ですが、ここも近いうちに乗りに行きたいと思っています。(長野市出身)



鴨川納涼・京都長野県人会ブース

## 鴨川納涼2017に参加して

野池 徹

8月5日土曜日。京都の四条に降り立つと生憎の雨、しかも時々雷にも見舞われる。台風5号の影響でイベントが中止になるかもとの心配をよそに、鴨川の中州を大勢の人が行き交っていました。

四条から三条に向かう中間点近くに長野県のブースがあり、京都長野県人会のみなさんが雨にもめげず、元気に呼び込みや、長野県名産の桃・おやき・生わさびなどを販売していました。樋口県大阪事務所長、京都長野県人会の有賀会長、相澤副会長、山田事務局長らの顔も見えます。

長野県人会のブースでビールを飲みながら歓談しました。須坂市の若手職員4名もそろいのTシャツを着て頑張っていました。



鴨川美化運動のために開催されて、すでに48年が経つそうです。今や完全に京都の夏の風物詩になっています。鴨川がその美しさを保っているのは、こうした地道な啓発活動の継続にあるのだと感じました。

続いて三条方向へ歩いていたら京都に住む和歌山出身の友人に会いました。和歌山県のブースで、紀州うめ鳥唐揚げをアテにビールを飲み、一休みしました。その後、福井県のブースでは越前ソバを食べました。

最後は例年通り相澤副会長のお店「舞」に集まって、飲んで、歌って、楽しみました。暑い京都の夏を堪能した一日でした。

(長野市出身)



長野県酒造組合主催  
 「2017長野の酒メッセ」開催

4月17日(月)午後4時から大阪新阪急ホテル2F紫の間で「2017長野の酒メッセ」が開催された。

大阪では4回目の開催で、今回も長野県酒造組合の要請を受けて会員300名全員にDMを発送した。長野県内の酒造メーカー53社が参加。各社のお酒が試飲できるので、一般来場者は2,000円(前売券・チラシ持参)であるが、日本酒好きの会員と家族、友人など約20名が参加し、それぞれの好みの銘柄の試飲を楽しんだ。

今年は開場が昨年より1時間早い午後4時であったが、時間前に大勢並んでいた。入口でいただいた「オリジナルきき猪口」を持って目指す銘柄のお酒を少しずつ試飲したが、伊那食品工業グループの今錦から黒松仙醸、真澄、七笑、若緑、西之門…と10社ぐらい回るとアルコールが効いてきた。

信州そば、おやき、おにぎり(いずれも小)の3点チケットを有効に使用し、テーブルに出された野沢菜やサラミソーセージをつまみとして食べたが、空腹感もあり、1時間余の滞在で、JRガード下の「新梅田食道街」の焼き鳥屋へ行き、8人で二次会を楽しんだ。

(高坂昌利 記)

6県合同「桃」販売 開催

毎年恒例の6県合同桃販売が8月3日(木)と4日(金)の2日間、大阪駅前第1ビルの地下2階特設コーナーで開催された。

各県自慢の桃を1玉ずつ、計5~6玉を1箱に詰め合わせ、5玉入り1,800円、6玉入り2,200円で販売。全国の桃生産量ランキング上位6県(長野・山形・福島・山梨・和歌山・岡山県)が一堂に集まりセット販売されるので、2日とも大好評で、11時の販売開始と同時に2~3セット購入する常連さんがあり、12時には販売完了となった。



県人会メンバーが販売



←「信州の酒」パネルの前で ↑酒樽と並んで



## 長野県大阪観光情報センターだより

長野県大阪事務所長 樋口 隆教

## グリーンシーズンから紅葉シーズンへ

朝夕に涼気を感じ、空が高くなると、彩り鮮やかな紅葉シーズンの到来です。標高差の大きい長野県では、9月下旬から11月中旬まで紅葉をお楽しみいただくことができます。



志賀高原 蓮池の紅葉

## ◆紅葉情報① 志賀高原の紅葉

2,000m級の山々が連なる志賀高原は、広葉樹の種類が多く、色とりどりの紅葉が楽しめます。紅葉最盛期は10月上旬から中旬で、10月7日(土)から9日(月・祝)には、奥志賀高原紅葉フェスタも開催されます。

## ◆紅葉情報② 池田町 大カエデの紅葉

池田町大峰高原のシンボル、七色大カエデ。樹齢250年と言われている大カエデは、高さ12m、直径15mで、緑、黄色、橙、赤など七色に変化します。10月上旬から色付き始め、見頃は10月中～下旬です。11月4日(土)には大峰高原紅葉散策イベントも開催されます。

## ◆紅葉散策後のおすすめは、やはり「温泉」

(一社)長野県観光機構では、県内49の入浴施設で利用可能な「信州 物味湯産手形」を販売しております。詳しくは 当観光情報センターまでお問い合わせください。

## 「おんな城主 直虎」

## 亀之丞ゆかりの地・高森町

NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」のいなすけ・亀之丞(井伊直親)が12年間潜伏していたとされる高森町。現在も残されている史跡を訪ね、伊那谷の歴史とロマンに思いをはせる旅はいかがでしょうか。

## ◆おすすめスポット① 松源寺

創建は1511(永正8)年頃とされる臨済宗の古刹で、創建者は12代当主松岡貞正とされています。当時は現在地より北西の寺山(高森町牛牧)にありました。本堂には1786(天明5)年、泰運住職が直虎が謀殺されたことを悲嘆し安置したとされる位牌があります。

## ◆おすすめスポット② 歴史民俗資料館

高森町歴史民俗資料館では現在、通常の展示に加え、大河ドラマでは描かれなかった亀之丞物語や亀之丞が武芸を習った松岡城址の出土品などが特別展示されています。



柿すだれ(市田柿)

## ◆おすすめ食材 市田柿

地名がそのまま呼び名となっている市田柿。干し柿生産の歴史は古く、500年以上前から続く当地の渋柿栽培から誕生しました。天龍川の川霧が柿を自然に加湿し、ゆっくりと乾燥させることで、やわらかな食感を生み出します。ぜひご賞味ください。



**大町登山案内人組合創立100周年記念  
特別企画展 北アルプスの百年  
百瀬慎太郎と登山案内人たち**

大町登山案内人組合は大正6(1917)年、百瀬慎太郎が主唱して大町で設立されました。これは当時、増加する登山者の要望に応えるとともに地元登山案内人の資質向上を目指してのもので、全国に先駆けての動きでした。今年、創立100周年を迎えるにあたり、同組合の足跡と大町市周辺山域の魅力为全国に発信するため、特別企画展が開催されています。

**◆企画展内容**

会期：平成29年8月5日～11月26日

会場：大町山岳博物館

展示構成：①日本近代登山の幕開け

②大町登山案内人組合の誕生

③岳都おおまち

**おいしい信州ふーど(風土)を味わおう**

穫れたての新鮮な果物や野菜が豊富にそろう長野県。10月から11月にかけては、りんご狩りや信州の伝統野菜・郷土食めぐりなどがおすすめです。



りんご狩りの様子

**◆りんご狩り**

りんご狩りは9月上旬から県内各産地で行われていますが、10月から11月にかけては、長野県生まれのシナノスイート、シナノゴールドの収穫時期を迎えます。タイプの異なる2品種をぜひ、ご賞味ください。

・収穫時期(目安)

シナノスイート：10月上旬～下旬

シナノゴールド：10月中旬～11月中旬

**◆信州の伝統野菜・郷土食めぐり**

多くの地方種が時代とともに淘汰されていく中、限られた地域で今日まで脈々と伝えられてきた伝統野菜。数ある中から、今回は、ねずみ大根をご紹介します。

・ねずみ大根(坂城町、千曲市)

江戸時代に薬用として長崎から伝わったとされ、辛みの中にある適度な甘みが特徴です。しほり汁は伝統食の「おしほりうどん」のつけ汁として用いられます。収穫時期は9月中旬から12月中旬。

**“魅力いっぱい”**

**関東甲信越静6県の観光物産展開催**

毎年恒例の6県合同観光物産展。

今年の開催予定は以下のとおりです。

**◆開催予定**

日時：平成29年11月10日(金)～12日(日)

場所：豊中市新千里東町

「せんちゅうパル南広場」

内容：長野県、茨城県、群馬県、新潟県、山梨県、静岡県 の特産品の販売と観光PR。

**ゆるキャラグランプリ 開催中**

現在開催中の「ゆるキャラグランプリ」に長野県PRキャラクターの「アルクマ」がエントリーしています。



一日一票の投票  
お願いします！

(投票期間：11月10日まで)  
(写真提供：長野県観光機構)



## 近隣長野県人会トピックス

### [兵庫県長野県人会]

#### 総会及び懇親会を開催

4月23日(日)11時30分から神戸ポートピアホテル29階聚景園で来賓・会員16名が出席、総会・懇親会が開催された。

総会は、①平成28年度事業報告・会計報告、②役員改選では赤羽会長以下全員再選、③平成29年度事業計画・予算案のすべてが承認された。

特別講演は記念写真撮影の後 兵庫県立大学天文科学センター鳴沢真也先生(東御市出身)による特別講演「信州は宇宙県」を拝聴した。

懇親会は、矢島利久総務副部長・事務局長の司会で始まった。赤羽会長の挨拶、来賓として長野県大阪事務所樋口隆教所長、信濃毎日新聞名古屋支社田中支社長、有賀一夫京都長野県人会長の挨拶があり、近畿長野県人会高坂会長の乾杯で宴がスタート。矢島副部長のギター伴奏で童謡・唱歌を歌うなど、和気藹々と進んだ。

(高坂昌利会長出席)



### [京都長野県人会]

#### 定時総会・懇親会を開催

5月14日(日)11時から京都東急ホテル1階「鞍馬の間」で来賓・会員約50名が出席、開催された。

総会は有賀一夫会長が議長となり、挨拶、来賓紹介のあと議事に入り、①平成28年度事業報告・収支決算報告、②平成29年度事業計画・収

支予算、③任期満了に伴う役員改選の3議案すべてが承認された。有賀会長、甘利・船坂両副会長が再選、新副会長に本木理事、相澤理事が選任された。



懇親会は山田孝久事務局長が司会、来賓として長野県太田寛副知事が挨拶、昨年の「真田丸」による観光効果、今年のJRとの合同キャンペーンの実施、長野県は健康長寿日本一など紹介、長野県大阪事務所樋口隆教所長が乾杯の音頭をとって宴に移った。

宴が進みカラオケタイムでは会員が自慢の歌を披露。最後に、船坂昭夫副会長の閉会の辞でお開きとなった。

なお会場には長野陸上競技協会創立70周年記念式典で、京都長野県人会の多年にわたる貢献に対し同協会から贈呈された感謝状(楯)が飾られていた。

(高坂昌利会長出席)



#### 創立45周年 記念植樹会

本年は創立45周年にあたり、これを記念して3月26日(日)午前10時半に 会員・家族など約30名が宇治市の太陽が丘運動公園内の「ふるさとの森」に集まり、長野県木「しらかば」5本を植樹した。

植樹後は、公園内の施設で バーベキューをしながら食事を楽しんだ。



## [淡海長野県人会]

## 総会・懇親会を開催

6月25日(日)11時からクサツ・エストピアホテルで、来賓・会員約30名が出席、開催された。

総会では、①28年度は初めての試みとして故郷訪問日帰り旅行を実施したことなど事業活動および収支決算を報告、②29年度事業計画・収支予算の説明があり、2議案とも承認された。

懇親会は、太田事務局次長の司会で進行。小林会長の挨拶のあと、来賓を代表して長野県大阪事務所樋口隆教所長が挨拶、芝間副会長の音頭で乾杯、祝宴に入った。

今回はアトラクションとしてボランティアの沢九麻男さんが腹話術・マジック・皿回しなどを演じ、会員が楽しんだ。また会場の周辺には会員の作品(ちぎり絵、仏像彫刻など)が展示・披露されていた。(高坂昌利会長出席)



アトラクションを楽しむ会員

## [在広島信州県人会]

## 総会・納涼会を開催

7月22日(土)午後5時から広島市文化交流会館2階「ルミエール」で、来賓・会員30名余が出席、開催された。

総会は高山理事の司会で進行。①28年度事業報告・収支決算、②29年度事業計画・収支予算、③役員選任：副会長1名退会に伴い新副会長に篠原道正理事が、後任の理事に篠原晃氏が

選任された。休憩後、全員で記念写真を撮影。

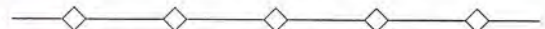
納涼会は金行副会長の司会で始まった。小林会長の挨拶に続いて来賓として京都長野県人会有賀一夫会長が挨拶、近畿長野県人会高坂会長の音頭で乾杯、宴会となったところで篠原理事が司会進行。

宴が進んでカラオケタイムでは「みんなで楽しく歌おう！」と信州ゆかりの歌の歌詞を配布、全員が舞台上がり大声で歌った。

(高坂昌利会長出席)



舞台上がってみんなで歌う



## 第7回 佐久間象山塾に参加

高坂 昌利

第7回佐久間象山塾が9月2日(土)長野市のホクト文化ホールで開催され、約2千人が参加し盛会であった。象山先生のような広い視野をもち、世界を舞台に活躍できる人材を地元信州から輩出したいという思いで、佐久間象山塾運営委員会(安藤喜久雄会長)が中心となって2011年から毎年開催している。

今回は講師として、①佐久間象山の生涯とその時代に精通する信州大学名誉教授・坂本保富氏が「日本近代化と佐久間象山～「東洋道徳・西洋芸術」思想と門人の軌跡～」と題して、②多くのテレビ番組にレギュラー出演・大活躍の林修氏が「覚悟を持って生きる」と題して講演した。(長野市松代町出身)



## 夏の甲子園大会に松商学園が9年ぶり36回目の出場を果たす！

中井 良策

## 1回戦 12-3で土浦日大に勝利！

第99回全国高校野球選手権大会は台風5号の影響で開会式から1日順延となり、大会2日目の第2試合の松商学園-土浦日大(茨城県)戦は9日に32,000人(連盟発表)の観衆が見守る中で行われた。

一塁側アルプス席には、地元松本から生徒・保護者・OB等2,500名がバスに分乗して応援に駆け付けた。その中心には最後の夏ベンチ入りが見られなかった3年生兎澤君をリーダーの野球部員80余名と炎天下学ランを纏った応援団員が汗だくになりベンチを鼓舞していた。

近畿長野県人会応援団は、高坂会長はじめ会員と長野県大阪事務所、八十二銀行大阪支店、信州ハム大阪事務所、JA全農長野大阪販売事務所の皆さん22名がアルプス席上段のスタンドに陣取り、熱い声援を送った。

松商学園は1回1死一、三塁から藤井大地選手の適時打で先制。その後も打線は毎回塁上に走者を出す猛攻で21安打5四死球の12得点をあげ、投げては先発の青柳真珠(ましゅう)投手が140キロに達する直球と変化球を操り、土浦日大を3点に抑えて完投した。

勝負をほぼ手中にした9回には5番森田三塁手が左前安打で出塁、2死2塁で青柳投手が打ち上げた飛球を一塁手が落球する間に2塁から本塁を走り抜けて得点・まさにOBの柳沢氏が激励会で訓じた「常に全力でプレイを・・・」に倣った12点目となった。

2011年に就任した足立修監督は、15年春の選抜大会に続いて2度目の甲子園出場で初勝利をあげて、2回戦に勝ち進んだ。

試合終了後、県人会有志は関西校友会と日吉食堂に合流して松商学園の勝利を祝った。



アルプス席最上段で応援する県人会の面々



兎澤君をリーダーの野球部員 応援団員



日吉食堂で祝勝会



## 2回戦 3-6で盛岡大付属に敗退

初戦突破した松商学園は、15日の第1試合で盛岡大付属(岩手県)と対戦する予定であったが、甲子園球場は夜明け前から断続的に雨が降り、大会本部は午前6時に中止を発表した。

球場に到着していた松商学園メンバーは、室内練習場に入り、1時間半ほど練習をした。甲子園に向かっていった総勢2,000人の大応援団は、そのままバスでUターンして松本に戻った。

16日の2回戦では、三塁側スタンドに詰めかけた松商応援団の人数は初戦より少なかったが、前日から関西に泊っていた野球部員や吹奏楽部員に、個人的に駆け付けた卒業生や関西在住の関係者が加わり、最後まで大声援を送り続けた。

近畿長野県人会は、小林副会長はじめ会員と長野県大阪事務所、八十二銀行、JA全農長野の関係者を加えて15名が応援に参加した。

試合内容は、2点をリードされた6回に藤井大地主将の本塁打で1点差に迫り、4-1とされた7回裏、四球で出塁の北原が二盗・三盗を決める機動力を発揮して無死二、三塁、吉川の遊ゴロの間に北原が生還。無安打で1点をあげた5-2と3点を追う8回、1死一、三塁での相手バッテリーミスで三塁走者がホームを踏んだが、その後は追加点を奪えず、3-6で敗退。

試合終了後は、日吉食堂に会員・校友会16名が集い恒例の慰労会を行い、応援で潤れた喉を潤して帰途に着いた。

## 松商学園野球部選手激励訪問

甲子園出場の松商学園野球部は、8月1日の在校生・保護者会による壮行会后に松本を出発、同日16時に大阪入りした。

宿舎のアバヴィラホテルでは松商学園 関西校友会会員10名、保護者1名(東大阪市)、当会の高坂会長・小林副会長・中井常任理事が出迎え歓迎した。

18時からの激励会で、関西校友会の松山会長、野球部OB、当会の高坂会長・小林副会長から激励の言葉とお祝い金の贈呈、長野県大阪事務所からジュース2箱の差入れがあり、山口野球部部長・足立監督の謝辞と選手紹介、藤井大地主将の決意表明があった。

「今回はベンチ入り選手と3年生部員全員の38名を連れてきました」と足立監督。

「一戦必勝で優勝目指して頑張る」と藤井主将。「野球は何が起きるか判らない、どんなプレイにも気を抜かず全力でプレイしていると結果がついてくる」と野球部OB柳沢光男氏の訓示。

(佐久穂町出身)



高坂会長 激励挨拶





## 同好会の活動報告

### [麻雀同好会]

脳トレと親睦を目的とした麻雀同好会が発足、初回は2月20日(月)13時から大和クラブで11名が参加して開催された。(既報)

#### ◇第2回開催 H29.4.4(火)

・参加者13名(男子10名、女子3名)

初心者も参加、3卓で予定時間を1時間オーバーして楽しんだ。終了後8名が同ビルB2にある神戸酒心館の直営店「福寿」で懇親した。

#### ◇第3回開催 H29.6.6(火)

・参加者16名(男子13名、女子3名)

参加者が4卓に分かれて1時間で入れ替わる、総当たり4回戦に熱中した。2人が役満(大三元と国士無双)を成立させるなど、賑やかにゲームを楽しんだ。終了後8名が「福寿」で反省会を兼ねた食事会をした。

#### ◇第4回開催 H29.8.8(火)

・参加者16名(男子12名、女子4名)

3卓は本戦総当たり、1卓は初心者中心でゲームを楽しんだ。中には「50年ぶりの牌の感触が楽しかった!」と話す人も。終了後、9名が「福寿」に集まった。

### [カラオケ同好会]

#### ◇第14回開催 H29.3.6(月)

・歌謡練場うたおう(天神橋3丁目)

・参加者19名(男子12名、女子7名)

参加者が最多で、次の順番が回ってくるまで飲み物と隣との会話が進んだ。終了後、近くの「上海食苑」の開店を待って8名で懇談した。

#### ◇第15回開催 H29.6.5(月)

・歌謡練場うたおう(天神橋3丁目)

・参加者12名(男子7名、女子5名)

今回は珍しく参加者が少なかったため、すぐに歌う順番が回ってきて選曲に忙しいほどだった。

「河内おとこ節」に合わせて踊るなど、歌と踊りを楽しんだ。散会后、有志8名が「上海食苑」で小籠包に舌鼓をうちながら歓談した。

### [ゴルフ同好会・みすず会]

#### 春季ゴルフコンペを開催

4月13日(木)12名が参加して晴天の中、池田カンツリー倶楽部(平林運敏さんの紹介)でラウンドした。コンペは新ペリア方式で行い若林正伸さんが優勝した。終了後、成績発表・表彰式をかねて軽食をいただきながら懇談した。

#### [成績](敬称略)

優勝 若林 正伸 G100 N72.8

2位 中村 紘一 G 93 N72.9

3位 平林 運敏 G100 N74.0

秋季大会は10月19日(木)泉南カンツリー倶楽部で開催します。



### [大相撲愛好会]

3月13日(月)大阪場所2日目、長野県出身の新小結・御嶽海関の応援に約20名が集まり熱い声援を送った。応援の甲斐あり松鳳山関を押し出し白星を飾った。(9勝6敗と勝ち越し)取り組みが終了後、14名が千日前の「常の山」で祝杯を挙げチャンコを楽しんだ。

(御嶽海関：9月の秋場所は東関脇で活躍中)





## 藤保君子さん

### 姫路市芸術文化奨励賞を受賞

姫路市を中心に芸術・文化活動を通して活躍し、地域文化向上に貢献した個人・団体に贈られる姫路市芸術文化賞の「芸術文化奨励賞」を3月24日石見利勝市長から贈呈された。

藤保君子さんは看護師として働くかわら、『姫路文学』の同人となって、人生経験と深く結びついた作品を継続して発表。平成27年に出版された『向島物語』では見習い看護婦を主人公に、人の生死や愛について 誠実に向か



い合って描き、高く評価された。

(推薦理由より) 今年の4月には、人生の終末期を題材にした小説『リビングウィル(尊厳死宣言書)』を自費出版した。

(高坂 昌利 記)

### 新入会員の紹介(平成29年3月以降)

(敬称略：氏名・出身地 = 紹介者)

石崎 直子(松本市) = 事務局

八木 進(長野市) = 高坂 昌利

### ご 逝 去 (敬称略)

小林 一三(諏訪市)平成29年6月21日

小林一三氏は、昭和52年から理事・常任理事・顧問として近畿長野県人会の事業活動にご支援・ご協力をいただきました。

長年のご貢献に感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

会長 高坂 昌利

### 副会長会の開催

○平成29年5月29日(月)10時30分

大阪市立総合生涯学習センター第5会議室

出席者 12名

(1)秋の日帰り懇親会の開催について

- ・日程 平成29年10月5日(木)
- ・会場 箕面観光ホテル・スパガーデン
- ・会費 6,000円/人
- ・内容 食事と懇親会

上記の承認を受けて、7月13日付で会員へ「日帰り懇親会開催ご案内」を送付した

(2)役員会の開催について

- ・日程、会場、議案について決定

(3)個人会員の入会紹介についてお願いした

### 役員会・役員懇親会の開催

○平成29年7月14日(金) 17時30分

スーパードライ梅田 34名

(1)日帰り懇親会の開催について

開催内容について説明し、出席および参加動員をお願いした

(2)個人会員の入会紹介について

入会申込書を配布、同窓会等での勧誘など積極的な紹介をお願いした

[懇親会] 会費：4,000円

役員会終了後懇親会に移り、同好会の活動状況など情報の共有と相互交流をはかった

### 編集後記

今号は会員の皆さんからの「ふるさと信州への思い」を特集しました。信州への理解を深めていただくきっかけになればと思います。

記事を読んで信州への旅を思い立たれたら、まずは、大阪駅前第1ビル8階の長野県大阪観光情報センターへお越しく下さい。季節限定の情報や美術館などの割引券もあります。

月曜・木曜には 県人会事務局のメンバーもお待ちしております。(安藤 隆雄 記)



信州・長野県への移住に関することなら お気軽に！

大阪梅田の

**長野県大阪移住・交流サポートデスク**にご相談ください

信州・長野県への移住や1ターンをお考えの皆様の身近で気軽な相談窓口として、大阪市(梅田、大阪駅前第1ビル内)に『長野県大阪移住・交流サポートデスク』を開設しております。たくさんの皆様のご利用をお待ちしております。まずはお電話を。

場 所 〒530-0001

大阪市北区梅田1-3-1-800

大阪駅前第1ビル8階

(長野県大阪観光情報センター内)

電 話 06-6341-7006

ファクシミリ 06-6456-2889

相 談 時 間 月曜日～金曜日

午前9時30分～午後5時(土曜日、日曜日、祝日は休業)

※相談で来訪される場合は、事前のご予約をお勧めします。



ご相談いただきました皆様へのサポートの一例

長野県内での「就業」や「移住」に関する相談

ご希望のライフスタイルに応じた移住候補地等の情報提供

1ターン登録のご案内と長野県内の求人情報の提供

長野県庁内の専門相談員「田舎暮らし案内人」や

長野県内の市町村の担当者へのおつなぎ



■お問い合わせ 長野県大阪事務所/長野県大阪観光情報センター

TEL: 06-6341-7006 FAX: 06-6456-2889

E-mail: osakajimu@pref.nagano.lg.jp

URL: <https://www.pref.nagano.lg.jp/osakajimu/index.html>